**平成３０年度**

**卓越大学院プログラム　計画調書**

[採択時公表]

|  |
| --- |
| （１）プログラムの全体像【１ページ以内】（申請するプログラムの全体像を１ページ以内で記入してください。） |

ポンチ絵は不要です。

|  |
| --- |
| （２）プログラムの内容【４ページ以内】（国内外の優秀な学生を、高度な「知のプロフェッショナル」、すなわち、俯瞰力及び独創力並びに高度な専門性を備え、大学や研究機関、民間企業、公的機関等のそれぞれのセクターを牽引する卓越した博士人材へと育成するため、国際的に通用する博士課程前期・後期一貫した質の保証された学位プログラムを構築・展開するカリキュラム及び修了要件等の取組内容を記入してください。また、人材育成上の課題を明確にした上で、その課題解決に向け検証可能かつ明確な目標を、プログラムの目的にふさわしい水準で設定し、さらに、目標の達成のために申請大学全体の大学院システムをどのように変革するかを明確に記入してください。） |

|  |
| --- |
|  |

|  |
| --- |
|  |

|  |
| --- |
|  |

※プログラムの内容が分かるようにまとめたポンチ絵（１ページ以内）を別途添付してください。（文字数や行数を考慮する必要はありません。）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ◎プログラムとして設定する検証可能かつ明確な目標【１ページ以内】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項　目 | 内　容 | 備　考 |
| （例）○○分野の国際学会における発表者数 | 平成30～31年度　－名平成32年度　○名／年平成33～36年度　○名／年 | Ｍ２以上の学生に課す○○○プロジェクトの結果等を活用し、特に優秀な学生はＭ２から成果を発表することを想定。 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

※適宜行を追加・削除してください。 |

|  |
| --- |
| （３）プログラムの特色、卓越性、優位性【２ページ以内】（「最も重視する領域」を中心に、申請するプログラムが国際的な観点から見て有している特色、卓越性、優位性に関して記入してください。） |

|  |
| --- |
|  |

※プログラムの特色、卓越性、優位性が分かるようにまとめたポンチ絵（１ページ以内）を別途添付してください。（文字数や行数を考慮する必要はありません。）

|  |
| --- |
| （４）学長を中心とした責任あるマネジメント体制【２ページ以内】（学長を中心として構築される責任あるマネジメント体制を確保するための取組、大学全体の中長期的な改革構想の中での当該申請の戦略的な位置づけ、高度な「知のプロフェッショナル」を輩出する仕組みの継続性の担保と発展性の見込みについて記入してください。） |

|  |
| --- |
|  |

ポンチ絵は不要です。

|  |
| --- |
| （５）学位プログラムの継続、発展のための多様な学内外の資源の確保・活用方策【１ページ以内】（学位プログラムの継続、発展のための学内外の資源の確保・活用方策について記入してください。） |

ポンチ絵は不要です。

|  |
| --- |
| （６）個別記載事項その他、プログラム全体を通じての補足説明【４ページ以内】（個別記載事項に該当する事項のうち、ここまでの説明では用いられておらず更に説明を要する点や、その他分野の特性等の説明を要する内容について、自由に記述してください。） |

|  |
| --- |
|  |

|  |
| --- |
|  |

|  |
| --- |
|  |

ポンチ絵は不要です。

|  |
| --- |
| （７）大学院教育研究に係る既存プログラムとの違い【１ページ以内】＜プログラム担当者が、大学院教育研究にかかる既存のプログラムを継続実施中の場合のみ記載。それ以外の場合は該当なしと記載。＞（現在国の教育・研究資金により継続実施中である大学院教育研究に係るプログラム（博士課程教育リーディングプログラム、その他研究支援プロジェクト等）に、当該申請のプログラム担当者が関わっている場合（プログラム責任者として複数プログラムに関与している場合を除く）には、当該プログラム及び関与しているプログラム担当者の氏名を明記の上、プログラムの内容、対象となる学生、経費の使用目的等、本プログラムとの違いを明確に説明してください。特に博士課程教育リーディングプログラムについては、国の補助期間が終了している場合についても、継続されているプログラムとの違いを上記にならい記述してください。） |

ポンチ絵は不要です。